

外交の大要

臨時議會はいよいよ明日を以て開院せらるゝ。ふとならんが結局如何なる光景を呈す可きや豫め知る可らず進歩黨は正面の政として政府と争ふに相違なからんれども自由黨の態度は如何にも曖昧なり一旦は當路者と手を絶ちたれども政府黨たる國民議會と尙ほ氣脈を通するのみならず近々の舉動何となく政府に近寄らんとするものも如し左ればとて此より内閣と結ばば議内に紛糾を生ず可きは殆んど疑ふ可らず斯る次第なれば各議案の運命も豫言するを得ず法典の如きは黨派問題に非されば畢竟議な通じるのみならんれども其他は一是一非喧しき議論あるふじな可く時宜に依ては或は外交を云々して當初者の信任を問はんと欲するやも知る可らず増稅の如きは目下の急務にして財政整理の基本されば是非とも此際斷行を期するとして別に一つの注文は外交に付て開會 聞頭に出来る限り説明するふと是なり今は實に四邊多事にして當局者に於ても恐らくは神々苦心の最中なる可し此時に當り内に争を生じて議會を解散するとか政府が辭職するとか騒動の間に日を送るが如き誠に好ましからぬ次第なれば外交は國民の與り知る可き限りに非ずとて強ひて隔壁を築かざ成る可く胸襟を開いて相共に經營するの精神を示すみを肝膽なる可む元來國民の利害に關する事件は國民の意思に依て決するふと立憲政治の本色にして賦稅を増減し法律を改廢するには々々議會の審議を經るの例なれば外交の如き國民全體の安危榮辱に關する問題は皆と國民に相較の上にて定むるふと本意なとも何分にも相手は外國人にして其間に種々の紛糾を要し々衆議に附しては到底好結果を齎するふと能はざるを以て便宜の爲め個人に就ては「任するものされば假令ハ桂輝上差士なけれ候て全く人臣不渡外視するはめつらうるもの」桂輝今日當局事の外交を難する者の中には只事情を知らざるが爲めに漫に騒ぐ者を多く見ゆるが故に政府の仕事に不滿なるよかに思ふが如きは實に當る者もなきは非ず當局者は既て一旦その態度を改め近く人民に接して差支えなき限り其難を浅すに於ては物議鎮定の筋道は渠に可うか政府自衛のためとも必要にして且つ現在説明して差支えなきも少なからず例へば威海衛問題の如き既に過去の事商の關係、福建不割、琉球事變等の事案も實にて何故に英國が譲りしか其大略を語るも別に不都合ある可くとも起原甚ず日清戰爭も收めて國民の要なる其

て敵の微尾秘密の事のみに非ず政府の方針次第にて語る可きもと自から多かる可し而して其説る可きと語るは則ち官民双方の利益なれば議會に物議の起るに先ち政府より進んで其大要を説明せんと我輩の敢て勧告する所なり

○バクテリア物語

四百一

○バクテリア物語

（四十一）

煙草調製の事。 (つやさ)

是までは煙草調製に有害なる有機酸の事を陳べ來りましが切るの調製の起る種々の發酵過程に於て細微有機體が煙草の養成者と製造者を輔るは疑を容れませんバクテリアは彼の燃焼に次ぐ所の第一發酵を惹起し又の其處で煙草の特種品質を定むる所のもの、一發酵の後に起る總べての續發諸發酵を惹起する部分は即ち是發酵作用の一若くは他のものに於て起る所の發酵の特性で御在す是等の煙草の異りたる等級に夫れく固有の香味と興ふるものは取も直さず斯の發酵の特種性そのものである其處で異りたる等級の煙草の特質を成す所の種々様々なる香味が假令其全部とせざるもの其大部份は發酵過程の間に發生されるからして煙草の品質の相違は其香味に關する文の所を以て論すれば發酵特種性の相違に歸因すると云ふるは自然の假定である、煙草調製中の種々の階級に於て其葉の上に發見されたる所の種々アリヤの種の數は随分澤山で御在まして前既に舉び來りたるものに敵感化力の下に發酵されしとの事實に歸す可きに非ずやと想像するふそ自然と云はねば成りません

又前記の文書は單に單なる推測、机上上の空論たるに過ぎずとは云はせません則ち某種の試験よりは試験上の實驗が斯の論案を支持して他年一日前にせらる可き實際上結果の、任大ならずとするも専ら角筋かの前段は與得文じた、且等煙草と劣等煙草との間の相違は發酵を起す所のバクテリア特性の相違に歸属する云々と云ふ點を主張して某種の學者等によると煙草の表面に於て煙草の根部に於ける有機體作用によるものとすれば若手の手段に據て培养しられて煙草發酵の爲めに用ひられました者とも土煙草の香味が概うと全く失した事無く其一部分たりとも學的手段に據て培养しられて煙草發酵の爲めに用ひられました者とも土煙草の香味が概

作が名前で、この歌は「佐木」の姓をもつた人間が歌ったものである。歌詞は、主に佐木姓の歴史や、その他の佐木姓の人々の話題を中心としたものである。